

あんじょう環境大学院(後期) 開講

さまざまな切り口から環境への理解を深め、環境首都を目指す安城らしいまちづくりについて、山田副市長と考える連続講座の後編です。

●とき／内容／講師 左表のとおり

●ところ 文化センターまたは教育センター

●対象 市内在住・在学・在勤の人

●定員 20人(定員を超えた場合は抽せん)

●申し込み 住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、電話・ファクス・Eメールで9月14日(月)まで(必着)に環境首都推進課(☎へ71▽2206/FAXへ76▽1112/kankyo@city.anjo.aichi.jp)へ

●申し込み 住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、電話・ファクス・Eメールで9月14日(月)まで(必着)に環境首都推進課(☎へ71▽2206/FAXへ76▽1112/kankyo@city.anjo.aichi.jp)へ

●申し込み 住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、電話・ファクス・Eメールで9月14日(月)まで(必着)に環境首都推進課(☎へ71▽2206/FAXへ76▽1112/kankyo@city.anjo.aichi.jp)へ

問▼環境首都推進課(☎へ71▽2206)

回	とき	内容	講師
1	10月13日(火)	デンマークという国～なぜデンマークは社会福祉国家、自然エネルギー先進国となりえたのか？～	ケンジ・ステファン・スズキ氏(環境活動家)
2	10月27日(火)	生物多様性とは何か？～屋久島の作法～	小野寺浩氏(鹿児島大学学長補佐)
3	11月11日(水)	エネルギーを慈しむ～私の環境論～	麻生圭子氏(エッセイスト)
4	11月26日(水)	環境と共生する都市・建築	エクハルト・ハーン氏(ドルトムント大学空間計画研究所所長)
5	12月16日(水)	地球と生きる家～パッシブハウスはゼロエネルギー住宅～	野沢正光氏(建築家)
6	12月22日(火)	「ふりかえり」と「環境首都・安城」のこれから	山田朝夫(副市長)

環境アドバイザー養成講座

市内の小学校や地域の環境に関するイベントなどで、講師として活躍する環境アドバイザーを養成します。

●とき／内容／講師 左下表のとおり

※時間は午後1時30分～4時。

●ところ 市民会館

●対象 18歳以上で、8回すべてに参加できる人

●定員 30人程度(定員を超えた場合は調整)

●その他 出席回数のない人は環境アドバイザーとして



登録できません

※10月～12月に、同講座参加者のグループで、グリーンマップの作成・成果発表の自主学習があります。

※開催日は変更する場合があります。

●申し込み 郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号・受講の動機・職業などの有無(勤務先・学校名・環境について日ごろ思うこと)を記入し、郵送・ファクス・Eメールで9月15日(火)まで(必着)に環境首都推進課(☎へ76▽1112/kankyo@city.anjo.aichi.jp)へ

問▼環境首都推進課(☎へ71▽2206)

回	とき	内容	講師
1	9月28日(月)	オリエンテーション 安城市の環境施策について	
2	10月5日(月)	講座(グリーンマップ)	中川恵子氏(中部リサイクル運動市民の会)
3	10月19日(月)	講座(共生)	浅野智恵美氏(環境カウンセラー)
4	11月2日(月)	講座(循環)	高野雅夫氏(名古屋大学大学院准教授)
5	11月16日(月)	講座(地球環境)	児玉剛則氏(愛知県地球温暖化防止活動推進センター事務局長)
6	11月30日(月)	講座(協働) グリーンマップ発表	杉浦ひろ子氏(環境アドバイザー)
7	12月14日(月)	講座(プレゼンテーション)	亀田将紀氏(環境アドバイザー)
8	来年1月23日(土)	成果発表会	

事務室配置換え作業に伴い 窓口の土曜開庁を休みます

9月19日(土)～23日(金)に、本庁舎1階事務室の配置換え作業をします。そのため、9月19日(土)の市民課・市民税課の土曜開庁は、臨時休業します。なお、9月24日(火)以降、本庁舎1階事務室の配置は左図のようになります。

問▼行政課(☎へ71▽2208) 市民課(☎へ71▽2221)

14日(月)から移転します。



ヤング・ジョブ・キャラバン IN 安城

求職活動中のみなさんの職業生活設計やキャリア形成を支援します。

●とき 9月26日(土)、10月16日(金)

●ところ 文化センター

●対象 35歳未満の人やその家族

●申し込み 参加申込書を記入し、9月8日(火)から郵送・ファクスで商工課(☎へ74▽501住所記載不要/FAXへ74▽6789)へ

※参加申込書は同課、中央・各地区公民館で配布。定員のある催しは電話申し込み可。

★9月26日(土)の日程

■就職支援セミナー

●とき 午後2時～4時

●定員 20人(先着順)

●内容 「就職活動に必要な自己管理」心と身体のマネジメント」就職活動における心身の健康法など

●講師 田中直美氏(生涯学習開発財団認定コーチ・健康管理士一般指導員)

ヤング・ジョブ・キャラバン IN 安城

■専門家による個人相談

●とき 午後1時～2時・3時・4時

●定員 8人(先着順)

●内容 人付き合いの方法、仕事の探し方・選び方、エントリーシートの書き方、面接の心得、自己アピールなどの相談

■職業適性診断

●とき 午後1時～5時

●内容 職業適性診断システムを利用した、専門の相談員による相談援助

★10月16日(金)の日程

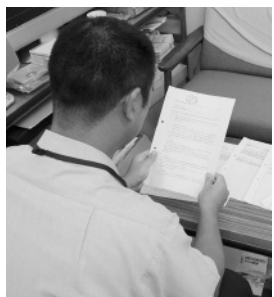
■職場見学会

●とき 午後1時～4時30分

●定員 10人(先着順)

●内容 市内事業所の職場見学と人事・労務担当者の講話

問▼商工課(☎へ71▽2235)



本紙5月15日号や市公式ウェブサイトなどで意見を募集した「安城市自治基本条例(案)」と「第7次安城市総合計画見直し(案)」に寄せられた意見に対して、市の考え方をまとめましたので公表します。

意見と市の考え方は、企画政策課、市政情報コーナー、中央・各地区公民館、市公式ウェブサイトでご覧いただけます。

●提出数 安城市自治基本条例(案)↓10件(5人) 第7次安城市総合計画見直し(案)↓1件(1人)

●問い合わせ 企画政策課(☎へ71▽2204)

生ごみ消滅器でごみ減量

家庭から排出される生ごみを減量する方法のひとつに、生ごみの自家処理があります。今回は、生ごみ消滅器を使ったごみ減量と実際に使用した市民グループからの感想を紹介します。

●準備するもの 生ごみ消滅器「くいしんぼ」米ぬかまたは使用済み天ぷら油

●設置場所 雨さらしにならない日当たりのよい場所（ベランダや屋内も可）

●使用方法

①生ごみを、米ぬかまたは使用済み天ぷら油とよく混ぜて消滅器へ入れます（目安は1日300～350g）。

②消滅器の基材とよく混ぜるようにかきまわします。

③必ずふたをかぶせます。

●使用後の感想 天ぷらの廃油が利用できること、入れた生ごみが消えていき、何も残らなくなるのがいいですね。1日に処理できる量が限られているので、調理した残飯を消滅器に入れ、手を加えていない野菜くずは、植木鉢コンポストでたい肥にしました。

場所をとらないので、マンションなどスペースのない人、少人数世帯には、本当に良いと思います。電気代も必要なく、臭い魚のはらわたも、処理機に入れば臭いも気にならず、気に入っています。週2回のごみ出しが、週1回になりました。

●生ごみ消滅器「くいしんぼ」の販売店 アベ園芸店（法連町／☎876-8778）、ダイマル（桜井町／☎99-4800）※販売価格9800円。市の生ごみ処理機器購入補助を受けると、自己負担3300円で購入できます。



生ごみ消滅器「くいしんぼ」

☎76-3053
（☎76）清掃事業所

9月10日は下水道の日

本市の下水道事業は、今年4月1日現在で供用面積1865ヘクタール、普及率66.6%を達成しました。

下水道は、生活排水などの水をきれいにし、川や海へ放流しています。これで、悪臭や蚊などの発生を抑え、生活環境を快適にしています。

多くの人が利用して、はじめてその力を発揮する下水道。一日も早く下水道に接続し、きれいな川や海を未来へ残しましょう。

より多くのみなさんに、下水道の役割を理解していただくため、下水道の日に啓発活動を実施します。安城七夕親善大使も来場します。

●とき 9月10日（木）午後4時～



■雨水貯留槽改造工事費を補助
下水道接続により不要になった浄化槽を雨水貯留槽として使用する人に、改造工事費を補助します。

この制度は、既設浄化槽の有効利用を目的とし、また、転用して利用することで、次のような利点および効果があります。

①浄化槽を再利用することで、ごみを減らすことができます。

②貯水の活用により、水道水の節水と下水道使用量の節約ができます。

③宅地内で雨水を一時的に溜めることで、雨水の流出を抑え、河川への負担が軽減できます。

④災害時における代替水源として利用できます。

●補助金額 浄化槽転用工事に要した経費に3分の2を乗じた額（千円未満切り捨て）

※雨水貯留槽の貯留量により上限額（右下表参照）を定めています。

※土木課で補助をしている雨水浸透施設設置との併用も可能です。

☎71-2258
（☎71）下水道管理課



可能ですが、この場合、補助金額の上限額は15万円となります。

●申し込み 排水設備工事と併せて申し込みください。

雨水貯留槽の貯留量	補助金の上限額
3㎡未満	7万5000円
3㎡以上10㎡未満	10万円
10㎡以上	15万円

あんくるバス ルート・時刻を変更

10月1日（木）より、あんくるバスのルート・時刻を次のとおり改正します。詳しくは、各家庭に配布する時刻表をご覧ください。

●改正点

①路線の増加

バスを3台増車し、10路線で運行

●現在の東部線を分割し、桜井西線を新たに運行

●西部線をループ状にし、バス2台で運行（左回りを西部線、右回りを作野線）

●安城更生病院～南安城駅～JR安城駅など、市街地の主要施設を連絡する循環線を新たに運行

②便数を1日6便以上に

●現在1日5便の南部線・高棚線・東部線・西部線と1日7便の北部線、新たに運行する作野線・桜井西線、桜井線を1日6便、市街地



線を1日7便、循環線を18便で運行

■（出）限定お試し無料乗車キャンペーン
本紙23ページに無料乗車券を掲載しました。期間中の（出）に、切り取って利用すれば、あんくるバスに無料で乗車することが出来ます。

●期間 10月3日（出）～11月1日（出）

☎71-2243
（☎71）都市計画課

入居待機型市営住宅 （空き家待ち）の随時募集

入居待機型市営住宅は、入居の順番が回ってきた場合に入居できます。応募を随時受け付けています。各住宅の入居待機者数は左表のとおりです。

●募集期間 月～（金）午前9時～午後5時（例）年末年始を除く

☎71-2240
（☎71）建築課

住宅名	待機者数	間取り	住宅名	待機者数	間取り
広畔（安城町）	0	2DK	荒曽根（住吉町）	0	3DK
新田（新明町）	12	2DK	新田北（新田町）	5	3DK
大山田東（大東町）	3	3DK	小根（今池町）	5	3DK
飛越（明治本町）	1	3DK	門原（桜井町）	4	3DK
池浦A・B（池浦町）	3	3DK	大山田上（池浦町）	13	3DK
小川（小川町）	2	3DK			

※入居待機者数は、8月13日現在。

市議会9月 定例会

●開催日程 9月1日（火）↓開会・議案説明（議場） 2日（水）3日（木）↓一般質問（議場） 7日（月）↓議案質疑（議場） 8日（火）～24日（木）↓委員会審査（委員会室） 30日（火）↓採決・閉会（議場）

※いずれも午前10時。

※日程を変更する場合があります。

●市議会の傍聴 本会議や委員会での審査の様子は、受付で氏名と住所を記入するだけで傍聴できます。手話通訳や要約筆記も可能です。（事前に申し出ください）

●一般質問を録画放映 2日、3日の一般質問の様子が、キヤッチネットワーク16チャンネル（デジタル放送は107チャンネル）で録画放映されます。また、市公式ウェブサイトの「市議会のページ」でも映像配信します。

放映日▼9月2日収録分↓9月5日（出）午後6時 9月3日収録分↓9月8日（火）午後6時

☎71-2252
（☎71）議事課